

教科	科目		期間	担当者		
保健体育	保健 (1年)	単位数：1 単位 [標準単位：2 単位]	年間	和田 晃		
指導目標						
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。						
1. 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。						
2. 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。						
3. 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。						
スクーリング	全 35 回	面接指導： 3 回 講義： 26 回	教科書	現代高等保健体育 (大修館)		
レポート	全 3 回	添削指導： 3 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	1 学期： 1 回 2 学期： 1 回 3 学期： 1 回	副教材	なし		
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/11	木	ガイダンス		○	第 1 回(6/20)
2	4/18	木	健康の考え方と健康		○	
3	4/25	木	私たちの健康のすがた		○	
4	5/9	木	生活習慣病の予防と回復		○	
5	5/16	木	がんの原因と予防		○	
6	5/23	木	がんの治療と回復		○	
7	5/30	木	運動と健康		○	
8	6/13	木	食事と健康	○		
9	6/20	木	喫煙と健康①	○		
10	6/27	木	喫煙と健康② [添削指導]			
11	7/4	木	期末試験			第 2 回(11/21)
12	7/9	火	試験返却		○	
13	8/29	木	飲酒と健康①		○	
14	9/5	木	飲酒と健康②		○	
15	9/12	木	薬物乱用と健康		○	
16	9/17	木	精神疾患の特徴		○	
17	9/26	木	精神疾患の予防		○	
18	10/3	木	精神疾患からの回復		○	
19	10/17	木	現代の感染症		○	
20	10/24	木	感染症の予防		○	
21	11/7	木	性感染症・エイズとその予防①		○	
22	11/14	木	性感染症・エイズとその予防②	○		
23	11/21	木	健康に関する意思決定・行動選択	○		
24	11/28	木	健康に関する環境づくり [添削指導]			
25	12/5	木	期末試験			

26	12/12	木	試験返却		○	
27	1/9	木	事故の原因と発生要因		○	第3回(2/13)
28	1/16	木	安全な社会の形成		○	
29	1/23	木	交通における安全		○	
30	1/30	木	応急手当の意義とその基本		○	
31	2/6	木	日常の応急手当		○	
32	2/13	木	心肺蘇生法①	○		
33	2/20	木	心肺蘇生法② [添削指導]			
34	3/6	木	期末試験			
35	3/11	火	試験返却		○	

教科	科目		期間	担当者
外国語	英語コミュニケーションⅠ（1年）	単位数：3単位 [標準単位：3単位]	年間	石川 賢一郎
指導目標				
外国語科目の目標として外国語による「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やりとり]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の言語活動を通して、情報や考えを的確に理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力の育成が学習の目標とします。「聞くこと」でも「読むことでも」言語活動を通して外国語を学ぼうとする気持ちや知識や外国語の文化への関心を高めていきます。				
1. 平易な英語を聞き取り、その応答ができること。				
2. 平易な英語を正しい発音、イントネーションで発音できること。				
3. 平易な英文を読み、内容を理解できること。				
4. 平易な英語を使って表現できること。				
スクーリング	全53回	面接指導：24回 講義：16回	教科書	東京書籍 All Aboard! English Communication
レポート	全9回	添削指導：9回 その他：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	1学期：1回 2学期：2回 3学期：1回	副教材	東京書籍 All Aboard! WORK BOOK 旺文社 グリーン・プレッパイングリッシュ 東京書籍 コーパス1800
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	Warm-Up 1 アルファベット、単語		○	第1回(5/7)
2	4/18	木	Warm-Up 2 英語の語順/疑問詞	○		
3	4/23	火	Warm-Up 3 人称代名詞/動詞 (be 動詞/一般動詞)	○		
4	4/25	木	Pre-Lesson 1 My Name Is Ito Neko (be 動詞)	○		
5	5/7	火	Pre-Lesson 2 I Like Junk Food! (一般動詞)		○	
6	5/9	木	Communication 1 [言語活動] 自己紹介 [添削指導1]			第2回(5/28)
7	5/14	火	英文のしくみ1 S+V, S+V+C, S+V+O 等		○	
8	5/16	木	Lesson 1 Breakfast around the World①		○	
9	5/21	火	Lesson 1 Breakfast around the World②	○		
10	5/23	木	Lesson 1 Breakfast around the World③	○		
11	5/28	火	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas①	○		第3回(6/20)
12	5/30	木	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas① [添削指導2]			
13	6/4	火	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas②		○	
14	6/11	火	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas③	○		
15	6/13	木	文法のまとめ ①be 動詞と一般動詞過去形/進行形	○		
16	6/18	火	文法のまとめ ②否定文と疑問文 / 疑問視	○		第4回(9/3)
17	6/20	木	文法のまとめ ③進行形	○		
18	6/25	火	文法演習①、リスニング (内容理解①) [添削指導3]			
19	6/27	火	文法演習②、リスニング (内容理解②)		○	
20	6/28	木	1学期定期試験 (期末)			
21	8/27	火	Lesson 3 A Train Driver in Sanriku①		○	第5回(10/8)
22	8/29	木	Lesson 3 A Train Driver in Sanriku②	○		
23	9/3	火	Lesson 3 A Train Driver in Sanriku③	○		
24	9/17	火	文法のまとめ ③助動詞 [添削指導4]			第5回(10/8)
25	9/20	木	Communication 2 [言語活動] 場面会話① (道案内)		○	
26	9/26	木	Communication 2 [言語活動] 場面会話② (お店等)	○		

27	10/1	火	Let's Listen 1 [言語活動] (内容理解・ディクテーション)	○		
28	10/8	火	2学期定期試験 (中間)			
29	10/17	木	Lesson 4 A Miracle Mirror① [添削指導5]			
30	10/22	火	Lesson 4 A Miracle Mirror②		○	第6回(11/7)
31	10/24	木	Lesson 4 A Miracle Mirror③	○		
32	10/29	火	Lesson 4 A Miracle Mirror④	○		
33	11/5	火	文法のまとめ ④不定詞①	○		
34	11/7	木	文法のまとめ ⑤不定詞②		○	
35	11/12	火	Writing [言語活動] e-mail を書く① [添削指導6]			第7回(12/3)
36	11/14	木	Writing [言語活動] e-mail を書く②		○	
37	11/19	火	Writing [言語活動] e-mail を発表する	○		
38	11/26	火	Extra Target 1 [言語活動] リスニング (内容理解①)		○	
39	11/28	木	Extra Target 1 [言語活動] リスニング (内容理解②)	○		
40	12/3	火	2学期定期試験 (期末)			第8回(1/28)
41	1/9	木	Lesson 5 Learning from the Sea① [添削指導7]			
42	1/14	火	Lesson 5 Learning from the Sea②		○	
43	1/16	木	Lesson 5 Learning from the Sea③	○		
44	1/21	火	Lesson 5 Learning from the Sea④	○		
45	1/23	木	Lesson 5 Learning from the Sea⑤		○	第9回(2/25)
46	1/28	火	文法のまとめ ⑥動名詞①	○		
47	1/30	木	文法のまとめ ⑦動名詞② [添削指導8]			
48	2/4	火	文法のまとめ ⑧動名詞と不定詞		○	第9回(2/25)
49	2/13	木	Let's Listen 2 [言語活動] リスニング (対話理解①)		○	
51	2/18	火	Let's Listen 2 [言語活動] リスニング (対話理解②)	○		
51	2/20	木	1年間のまとめ Reading①	○		
52	2/25	火	1年間のまとめ Reading② [添削指導9]			
53	2/28	金	3学期定期試験 (学年末)			

教科	科目		期間	担当者
家庭	家庭基礎	単位数：3単位 [標準単位：2単位]	年間	西山 裕希
指導目標				
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。				
(1) 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。				
(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、生涯を見通して解決する力を養う。				
(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家族、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。				
スクーリング	全53回	面接指導：12回 講義：31回	教科書	大修館書店 CreativeLiving「家庭基礎」で生活を作ろう
レポート	全6回	添削指導：6回 その他：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	1学期：1回 2学期：2回 3学期：1回	副教材	CreativeLiving「家庭基礎」で生活を作ろう 学習ノート
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	ガイダンス 家庭科を学ぶということ		○	第1回(5/16)
2	4/18	木	住生活 住まいを知ろう		○	
3	4/23	火	住生活 日本の住文化を知ろう		○	
4	4/25	木	住生活 住む人の生活と住まい		○	
5	5/7	火	住生活 心地よく暮らすために	○		
6	5/9	木	住生活 安全に安心して暮らす		○	
7	5/14	火	住生活 住まいを長く使う		○	
8	5/16	木	住生活 住環境を見つめてみよう	○		
9	5/21	火	住居の設計 (添削指導)			
10	5/23	木	衣生活 人と被服の関わり	○		第2回(6/20)
11	5/28	火	衣生活 快適な被服の条件		○	
12	5/30	木	衣生活 夏は麻、冬は毛の理由	○		
13	6/4	火	衣生活 長持ちさせる手入れ		○	
14	6/11	火	衣生活 被服の3R、実践してる？		○	
15	6/13	木	衣生活 健康と安全を守る被服		○	
16	6/20	木	衣生活 衣生活のPDCA		○	
17	6/25	火	被服計画 (添削指導)			
18	6/28	金	1学期 期末試験			
19	8/27	火	食生活 体と心を満たす食事		○	第3回(9/19)
20	8/29	木	食生活 栄養バランスの良い食事	○		
21	9/3	火	食生活 炭水化物を取る		○	
22	9/5	木	食生活 脂質を取る		○	
23	9/10	火	食生活 たんぱく質を取る		○	
24	9/12	木	食生活 無機質を取る		○	
25	9/17	火	食生活 ビタミンを取る		○	
26	9/19	木	食生活 豊かな食卓に	○		

27	9/24	火	献立作り (添削指導)			
28	9/26	木	経済生活 生活を営むためのお金		○	第4回(10/15)
29	10/1	火	経済生活 経済の仕組みを知ろう		○	
30	10/3	木	経済生活 お金と上手に付き合う術		○	
31	10/8	火	2学期 中間試験			
32	10/15	火	経済生活 18歳で変わる消費生活		○	
33	10/17	木	ライフプランを立てよう (添削指導)			
34	10/22	火	経済生活 進むキャッシュレス社会	○		
35	10/24	木	経済生活 「お金を借りる」ということ		○	
36	10/29	火	経済生活 消費者トラブルの今	○		
37	10/31	木	経済生活 消費者の自立を支援する		○	
38	11/5	火	経済生活 情報社会を生きる		○	第5回(11/21)
39	11/7	木	家族・家庭生活 家族って何だろう	○		
40	11/12	火	家族・家庭生活 わかってくれて当然?		○	
41	11/14	木	家族・家庭生活 生活マネジメントの拠点		○	
42	11/19	火	家族・家庭生活 法律から見る家族・家庭	○		
43	11/21	木	家族・家庭生活 ダイバーシティの実現を目指す		○	
44	11/26	火	生活をデザインする (添削指導)			
45	12/3	火	2学期 期末試験			第6回(2/13)
46	1/9	木	子どもの生涯と子育て 好奇心いっぱい		○	
47	1/16	木	子どもの生涯と子育て 子どものいる暮らし		○	
48	1/23	木	子どもの生涯と子育て 子どもの仕事は「遊び」	○		
49	1/30	木	子どもの生涯と子育て 子どもの健康と事故		○	
51	2/6	木	子どもの生涯と子育て 親になるということ		○	
51	2/13	木	子どもの生涯と子育て 社会で子育て	○		
52	2/20	木	絵本の世界 (添削指導)			
53	2/28	金	3学期 学年末試験			

教科	科目		期間	担当者		
商業	ビジネス基礎	単位数：3単位 [標準単位：3単位]	年間	飯高 北斗		
指導目標						
商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおりに育成することを目指す。						
(1) ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。						
(2) ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。						
(3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。						
スクーリング	全53回	面接指導：12回 講義：31回	教科書	ビジネス基礎		
レポート	全6回	添削指導：6回 その他：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	1学期：1回 2学期：2回 3学期：1回	副教材	なし		
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	いざ、ビジネスの世界へ1		○	第1回(5/16)
2	4/18	木	いざ、ビジネスの世界へ2		○	
3	4/23	火	私たちの社会とビジネス1		○	
4	4/25	木	私たちの社会とビジネス2	○		
5	5/7	火	コミュニケーション1		○	
6	5/9	木	コミュニケーション2		○	
7	5/14	火	ビジネスマナー1		○	
8	5/16	木	ビジネスマナー2	○		
9	5/21	火	情報の入手と活用(添削指導)			
10	5/23	木	経済の仕組みとビジネス1		○	第2回(6/25)
11	5/28	火	経済の仕組みとビジネス2		○	
12	5/30	木	経済の仕組みとビジネス3		○	
13	6/4	火	経済の仕組みとビジネス4	○		
14	6/11	火	経済活動と流通1		○	
15	6/13	木	経済活動と流通2	○		
16	6/18	火	経済活動と流通3		○	
17	6/20	木	経済活動と流通4	○		
18	6/25	火	ビジネスの種類1		○	
19	6/27	木	ビジネスの種類2(添削指導)			第3回(9/19)
20	6/28	金	期末試験			
21	8/27	火	小売業1		○	
22	8/29	木	小売業2		○	
23	9/3	火	卸売業	○		
24	9/5	木	物流業1		○	
25	9/10	火	物流業2	○		
26	9/12	木	金融業1		○	
27	9/17	火	金融業2		○	

28	9/19	木	情報通信業 1		○	
29	9/26	木	情報通信業 2 (添削指導)			
30	10/1	火	ビジネスと企業 1		○	第 4 回(10/24)
31	10/3	木	ビジネスと企業 2		○	
32	10/8	火	中間試験			
33	10/15	火	マーケティングの重要性	○		
34	10/17	木	資金調達 1		○	
35	10/22	火	資金調達 2		○	
36	10/24	木	財務諸表の役割 1	○		
37	10/29	火	財務諸表の役割 2 (添削指導)			
38	11/5	火	企業活動と税		○	第 5 回(11/26)
39	11/7	木	雇用 1		○	
40	11/12	火	雇用 2	○		
41	11/14	木	売買取引の手順 1		○	
42	11/19	火	売買取引の手順 2		○	
43	11/21	木	代金決済 1		○	
44	11/26	火	代金決済 2	○		
45	11/28	木	代金決済 3 (添削指導)			
46	12/3	火	期末試験			第 6 回(2/6)
47	1/9	木	ビジネス計算の基礎		○	
48	1/16	木	ビジネス計算の応用 1		○	
49	1/23	木	ビジネス計算の応用 2		○	
50	1/30	木	さまざまな地域の魅力と課題 1		○	
51	2/6	木	さまざまな地域の魅力と課題 2	○		
52	2/20	木	地域ビジネスの動向 (添削指導)			
53	2/28	金	期末試験			



教科	科目		期間	担当者
商業	簿記	単位数：4 単位 [標準単位：8 単位]	年間	田島 寛徳
指導目標				
商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
1. 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。				
2. 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。				
3. 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
スクーリング	全 70 回	面接指導：16 回 講義：42 回	教科書	高校簿記
レポート	全 8 回	添削指導：8 回 その他：0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	1 学期：1 回 2 学期：2 回 3 学期：1 回	副教材	なし
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/11	木	簿記の意味・目的	○		第 1 回(5/16)
2	4/16	火	簿記の種類・歴史		○	
3	4/18	木	簿記の基礎的条件		○	
4	4/23	火	簿記の要素 (資産)		○	
5	4/25	木	簿記の要素 (負債)		○	
6	5/7	火	簿記の要素 (純資産)		○	
7	5/9	木	簿記の要素 (費用・収益)	○		
8	5/14	火	貸借対照表と損益計算書 (計算問題①)		○	
9	5/16	木	貸借対照表と損益計算書 (計算問題②)		○	
10	5/21	火	貸借対照表と損益計算書 (計算問題③) (添削指導)			
11	5/23	木	取引と勘定		○	第 2 回(6/25)
12	5/28	火	勘定記入法		○	
13	5/30	木	取引の分解と勘定記入①		○	
14	6/4	火	取引の分解と勘定記入②		○	
15	6/11	火	仕訳①	○		
16	6/13	木	仕訳②		○	
17	6/18	火	仕訳③		○	
18	6/20	木	仕訳④		○	
19	6/25	火	仕訳⑤	○		
20	6/27	木	仕訳⑥ (添削指導)			
21	6/28	金	1 学期期末試験			第 3 回(9/12)
22	7/9	火	試験返却		○	
23	8/27	火	転記①		○	
24	8/29	木	転記②		○	
25	9/3	火	転記③		○	
26	9/5	木	仕訳と転記のまとめ	○		

27	9/10	火	仕訳帳の記入①		○	第4回(10/22)
28	9/12	木	仕訳帳の記入②	○		
29	9/17	火	総勘定元帳の記入① (添削指導)			
30	9/19	木	総勘定元帳の記入②		○	
31	9/26	木	仕訳帳と総勘定元帳の記入のまとめ	○		
32	10/1	火	貸借対照表の作成①		○	
33	10/3	木	貸借対照表の作成②		○	
34	10/8	火	2学期中間試験			
35	10/15	火	損益計算書の作成①		○	
36	10/17	木	損益計算書の作成②		○	
37	10/22	火	貸借対照表と損益計算書の作成のまとめ	○		第5回(11/21)
38	10/24	木	精算表の作成① (添削指導)			
39	10/29	火	精算表の作成②		○	
40	11/5	火	精算表の作成③		○	
41	11/7	木	精算表のまとめ	○		
42	11/12	火	会計報告書の作成①		○	
43	11/14	木	会計報告書の作成②		○	
44	11/19	火	会計報告書の作成③		○	
45	11/21	木	会計報告書の作成のまとめ	○		
46	11/26	火	全経基礎簿記会計検定 検定対策 (添削指導)			
47	11/28	木	これまでの学習のまとめ	○		
48	12/3	火	2学期期末試験			
49	12/12	木	試験返却		○	
50	1/9	木	試算表の作成①		○	
51	1/14	火	試算表の作成②		○	
52	1/16	木	試算表のまとめ	○		
53	1/20	月	現金出納帳の記入①		○	
54	1/21	火	現金出納帳の記入② (添削指導)			
55	1/23	木	現金出納帳の記入のまとめ		○	第7回(2/6)
56	1/27	月	現金過不足①		○	
57	1/28	火	現金過不足②		○	
58	1/30	木	現金過不足のまとめ	○		
59	2/3	月	小口現金出納帳の記入①		○	
60	2/4	火	小口現金出納帳の記入②		○	
61	2/6	木	小口現金出納帳の記入のまとめ	○		
62	2/10	月	当座預金と当座借越 (添削指導)			
63	2/13	木	仕訳①		○	
64	2/17	月	仕訳②		○	
65	2/18	火	仕訳③	○		
66	2/20	木	当座預金出納帳の記入		○	
67	2/25	火	当座預金出納帳の記入	○		
68	2/27	木	当座預金出納帳の記入のまとめ (添削指導)			
69	2/28	金	学年末試験			
70	3/11	火	試験返却		○	

教 科		科 目		期間	担当者		
商業		日本語ワープロ		年間	岡本 裕樹		
		単位数：3単位 [標準単位：5単位]					
指導目標							
1. パソコン全般に関する幅広い知識と操作技術を習得する。							
2. 文書を読む技術とパソコンの入力技術を意識しながら練習を行い、入力速度の向上を図る。							
3. 情報モラルについて正しい知識を習得すると共に、問題の発見、解決に向けて自分の考えを表現できるようにする。							
4. ビジネス文書の構成に関する知識と作製技術を習得する。							
5. 日本語ワープロ検定を習得する。							
スクーリング	全53回	面接指導：12回 講義：32回	教科書	なし			
レポート	全6回	添削指導：6回 その他：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用			
定期試験	あり	1学期：1回 2学期：1回 3学期：1回	副教材	日本情報処理検定協会 日本語ワープロ模擬問題集3・4級編			
定期試験評価割合	50%		評定	100点法5段階評定			
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)	
1	4/16	火	PC 基礎知識①	○		第1回(5/16)	
2	4/18	木	PC 基礎知識②		○		
3	4/23	火	Word 基礎知識①		○		
4	4/25	木	Word 基礎知識②		○		
5	5/7	火	ローマ字入力①	○			
6	5/9	木	ローマ字入力②		○		
7	5/14	火	ローマ字入力③		○		
8	5/16	木	ローマ字入力④		○		
9	5/21	火	ローマ字入力⑤ (添削指導)				
10	5/23	木	ビジネス文書の構成要素①	○		第2回(6/20)	
11	5/28	火	ビジネス文書の構成要素②		○		
12	5/30	木	文書入力①	○			
13	6/4	火	文書入力②		○		
14	6/11	火	文書入力③		○		
15	6/13	木	文書入力④		○		
16	6/18	火	文書入力⑤		○		
17	6/20	木	課題制作①	○			
18	6/25	火	課題制作② (添削指導)				
19	6/27	木	課題制作③		○		
20	6/28	金	1学期定期試験				
21	9/3	火	ビジネスマナー・文書①	○		第3回(9/26)	
22	9/5	木	ビジネスマナー・文書②		○		
23	9/10	火	文書入力①		○		
24	9/17	火	文書入力②		○		
25	9/19	木	文書入力③		○		
26	9/26	木	文書入力④		○		
27	10/1	火	文書入力⑤ (添削指導)				
28	10/15	火	ビジネス文書①	○			第4回(11/12)

29	10/17	木	ビジネス文書②		○	
30	10/22	火	文書入力①	○		
31	10/24	木	文書入力②		○	
32	10/29	火	文書入力③		○	
33	11/5	火	課題作成①	○		
34	11/7	木	課題作成②		○	
35	11/12	火	課題作成②		○	
36	11/14	木	文書入力④ (添削指導)			
37	11/19	火	文書入力⑤		○	
38	11/26	火	文書入力⑥		○	
39	11/28	木	文書入力⑦		○	
40	12/3	火	2学期定期試験			
41	1/9	木	情報モラルについて①	○		
42	1/14	火	情報モラルについて②		○	
43	1/16	木	文書入力①		○	
44	1/21	火	文書入力②		○	
45	1/23	木	文書入力③ (添削指導)			
46	1/28	火	表の作成①	○		第6回(2/20)
47	1/30	木	表の作成②		○	
48	2/4	火	文書入力、表の作成①		○	
49	2/13	木	文書入力、表の作成②		○	
51	2/18	火	課題作成①	○		
51	2/20	木	課題作成②		○	
52	2/25	火	課題作成③ (添削指導)			
53	2/28	金	3学期定期試験			

## 2024 年度年間教育計画

面接指導施設：生蘭高等専修学校

教 科		科 目		期間	担当者	
現代文明論	高校現代文明論	単位数：1 単位 [標準単位：1 単位]		年間		
指導目標 自らに「人生いかに生きるべきか」と問いかけ、意義ある人生を送るため、多様なものの見方の中から、正しいものの見方・考え方を確立し、人道主導・人格主義に基づいた思想を培う。						
スクーリング	全 5 回	面接指導： 5 回 講 義： 回	教科書	東海大学出版 新編高校現代文明論		
レポート	全 5 回	添削指導： 5 回 そ の 他： 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	なし	学 期： 回	副教材	配布プリント など		
定期試験評価割合	%		評定	100 点法 5 段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	5/10	金	学習テーマ：現代文明論とは [校長講話] ・高校現代文明論の成り立ちと高校現代文明論で学ぶことを理解する	○		第 1 回(5/30)
2	10/4	金	学習テーマ：建学の精神と東海大学の学び ・建学の精神、東海大学の学び、思想を培う	○		第 2 回(10/30)
3	11/22	金	学習テーマ：松前重義とさまざまな人たちとの出会い ・人との出会い、かかわり方について考える	○		第 3 回(11/29)
4	11/29	金	学習テーマ：持続可能な社会の実現に向けて (住み続けられるまちづくり) ・住んでいる地域の現状について理解し、国内の他の地方と比較してどのような問題点があるのかを理解する。	○		第 4 回(1/17)
5	1/17	金	学習テーマ：持続可能な社会の実現に向けて (住み続けられるまちづくり) ・住みやすい地域づくりに向け、自ら見つけ出した問題点について、多面的・多角的な視点や考え方をうい改善案を立案する。	○		第 5 回(1/30)

教科		科目		期間	担当者	
国語		現代の国語		年間	有富 帆美	
		単位数：3単位 [標準単位：2単位]				
指導目標						
1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 2. 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3. 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
スクーリング	全53回	面接指導：6回 講義：34回	教科書	第一学習社 高等学校「現代の国語」		
レポート	全9回	添削指導：9回 その他：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	1学期：1回 2学期：2回 3学期：1回	副教材	大修館書店 国語便覧 適宜ワークシート、プリントを使用		
定期試験評価割合	70%		評定	100点法5段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	教科書の構成と使い方(「現代の国語」ガイダンス)		○	第1回(5/7)
2	4/18	木	『生きもの』として生きる〈ものの見方〉①		○	
3	4/23	火	『生きもの』として生きる〈ものの見方〉②		○	
4	4/25	木	『生きもの』として生きる〈ものの見方〉③		○	
5	5/7	火	『生きもの』として生きる〈ものの見方〉④		○	
6	5/9	木	『生きもの』として生きる〈ものの見方〉⑤(添削指導)			
7	5/14	火	『羅生門』①	○		第2回(5/28)
8	5/16	木	『羅生門』②		○	
9	5/21	火	『羅生門』③		○	
10	5/23	木	『羅生門』④		○	
11	5/28	火	『羅生門』⑤		○	
12	5/30	木	『羅生門』⑥(添削指導)			
13	6/4	火	文学のしるべ(文学史—近代の小説・芥川龍之介)		○	第3回(6/20)
14	6/11	火	『水の東西』(比較文学)	○		
15	6/13	木	『水の東西』(比較文学)		○	
16	6/18	火	『水の東西』(比較文学)		○	
17	6/20	木	『水の東西』(比較文学)		○	
18	6/25	火	『水の東西』(比較文学) (添削指導)			
19	6/27	木	評論のしらべ(「ものの見方を変える」「文化を比較することでみえてくるもの」)		○	第4回(9/3)
20	6/28	金	期末試験			
21	8/27	火	『ものごとば』(言語)		○	
22	8/29	木	『ものごとば』(言語)		○	
23	9/3	火	『ものごとば』(言語)		○	
24	9/5	木	『ものごとば』(言語) (添削指導)			
25	9/10	火	論理分析[対比][具体と抽象]		○	第5回(9/19)
26	9/12	木	『無彩の色』(日本文化)	○		
27	9/17	火	『無彩の色』(日本文化)		○	
28	9/19	木	『無彩の色』(日本文化)		○	
29	9/26	木	『無彩の色』(日本文化) (添削指導)			

30	10/1	火	文学のしらべ(文学史—近代の小説・夏目漱石)		○	第6回(10/17)
31	10/3	木	『夢十夜』	○		
32	10/8	火	中間試験			
33	10/15	火	『夢十夜』		○	
34	10/17	木	『夢十夜』		○	
35	10/22	火	『夢十夜』(添削指導)			第7回(11/12)
36	10/24	木	表現 話して伝える「話し方の工夫」「待遇表現」		○	
37	10/29	火	表現 話して伝える「論理的な表現」		○	
38	11/5	火	『現代の「世論操作」』	○		
39	11/7	木	『現代の「世論操作」』		○	
40	11/12	火	『現代の「世論操作」』		○	第8回(11/26)
41	11/14	木	『現代の「世論操作」』(添削指導)			
42	11/19	火	『鏡』		○	
43	11/21	木	『鏡』		○	
44	11/26	火	『鏡』		○	
45	11/28	木	『鏡』(添削指導)			第9回(2/18)
46	12/3	火	期末試験			
47	1/14	火	『不均等な時間』	○		
48	1/21	火	『不均等な時間』		○	
49	1/28	火	論理分析[事実と意見][推論]		○	
51	2/4	火	『ロビンソンの人間と自然』		○	第9回(2/18)
51	2/18	火	『ロビンソンの人間と自然』		○	
52	2/25	火	『ロビンソンの人間と自然』(添削指導)			
53	2/28	金	学年末試験			

教科		科目		期間	担当者	
国語		言語文化		年間	遠藤 隆之	
		単位数：3 単位 [標準単位：2 単位]				
指導目標						
1. 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。						
2. 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。						
3. 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
スクーリング	全 53 回	面接指導： 6 回 講義： 34 回	教科書	第一学習社 高等学校「言語文化」		
レポート	全 9 回	添削指導： 9 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	1 学期： 1 回 2 学期： 2 回 3 学期： 1 回	副教材	大修館書店 国語便覧 適宜ワークシート、プリントを使用		
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	教科書の構成と使い方・古文の学習(「言語文化」ガイダンス)		○	第 1 回(5/7)
2	4/18	木	古文を読むために 1		○	
3	4/23	火	古文を読むために 2		○	
4	4/25	木	『宇治拾遺物語』「児のそら寝」	○		
5	5/7	火	『宇治拾遺物語』「児のそら寝」		○	
6	5/9	木	『宇治拾遺物語』「児のそら寝」(添削指導)			第 2 回(5/28)
7	5/14	火	『竹取物語』「なよ竹のかぐや姫」		○	
8	5/16	木	『竹取物語』「なよ竹のかぐや姫」		○	
9	5/21	火	『竹取物語』「なよ竹のかぐや姫」		○	
10	5/23	木	歌物語 『伊勢物語』「東下り」		○	
11	5/28	火	歌物語 『伊勢物語』「東下り」		○	第 3 回(6/20)
12	5/30	木	歌物語 『伊勢物語』「東下り」(添削指導)			
13	6/4	火	歌物語 『伊勢物語』「東下り」		○	
14	6/11	火	古文を読むために 3		○	
15	6/13	木	随筆(一) 『枕草子』「春は、あけぼの」	○		
16	6/18	火	随筆(一) 『枕草子』「春は、あけぼの」		○	第 4 回(9/3)
17	6/20	木	随筆(一) 『枕草子』「はしたなきもの」		○	
18	6/25	火	随筆(一) 『枕草子』「はしたなきもの」(添削指導)			
19	6/27	木	古文を読むために 4		○	
20	6/28	金	期末試験			
21	8/27	火	随筆(二) 『徒然草』「つれづれなるままに」(序段)	○		第 5 回(9/19)
22	8/29	木	随筆(二) 『徒然草』「ある人、弓射ることを習ふに」		○	
23	9/3	火	随筆(二) 『徒然草』「ある人、弓射ることを習ふに」		○	
24	9/5	木	随筆(二) 『徒然草』「ある人、弓射ることを習ふに」(添削指導)			
25	9/10	火	軍記物語 『平家物語』「祇園精舎」		○	
26	9/12	木	軍記物語 『平家物語』「祇園精舎」		○	第 5 回(9/19)
27	9/17	火	軍記物語 『平家物語』「祇園精舎」		○	
28	9/19	木	古典の詩歌 『万葉集・古今和歌集・新古今和歌集』		○	



29	9/26	木	古典の詩歌 『万葉集・古今和歌集・新古今和歌集』(添削指導)			
30	10/1	火	古典の詩歌 『万葉集・古今和歌集・新古今和歌集』		○	第6回(10/17)
31	10/3	木	古典の詩歌 『万葉集・古今和歌集・新古今和歌集』		○	
32	10/8	火	中間試験			
33	10/15	火	古典の詩歌 『奥の細道』「旅立ち」		○	
34	10/17	木	古典の詩歌 『奥の細道』「旅立ち」	○		
35	10/22	火	古典の詩歌 『奥の細道』「旅立ち」(添削指導)			
36	10/24	木	古典の詩歌 『奥の細道』「平泉」		○	第7回(11/12)
37	10/29	火	古典の詩歌 『奥の細道』「平泉」		○	
38	11/5	火	古典の詩歌 『奥の細道』「平泉」		○	
39	11/7	木	近現代の詩歌 「その子二十」「こころの帆」		○	
40	11/12	火	近現代の詩歌 「その子二十」「こころの帆」		○	
41	11/14	木	近現代の詩歌 「その子二十」「こころの帆」(添削指導)			
42	11/19	火	漢文入門 「訓読に親しむ(一)」 「漢文を読むために1」	○		第8回(11/26)
43	11/21	木	漢文入門 「訓読に親しむ(二)」 「漢文を読むために2」		○	
44	11/26	火	漢文入門 「訓読に親しむ(三)」 「漢文を読むために3」		○	
45	11/28	木	漢文入門 まとめ 「学習の手引き」(添削指導)			
46	12/3	火	期末試験			
47	1/14	火	故事成語 「狐借虎威」		○	
48	1/21	火	故事成語 「狐借虎威」		○	第9回(2/18)
49	1/28	火	故事成語 「蛇足」	○		
51	2/4	火	故事成語 「蛇足」		○	
51	2/18	火	漢詩 唐詩の世界 「春暁」「江雪」「江南春」		○	
52	2/25	火	漢詩 唐詩の世界 「静夜思」「春望」(添削指導)			
53	2/28	金	学年末試験			

教 科		科 目		期間	担当者	
公民		公共		単位数：3 単位 [標準単位：2 単位]	年間	横山 康輔
指導目標						
1. 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、および倫理、政治、経済などに関わる現代の諸問題について理解するとともに、諸資料からさまざまな情報を適切かつ効率的に調べまとめる技能を身につける。						
2. 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。						
3. よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。						
スクーリング	全 53 回	面接指導： 6 回 講 義： 34 回	教科書	第一学習社 新公共		
レポート	全 9 回	添削指導： 9 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	1 学期： 1 回 2 学期： 2 回 3 学期： 1 回	副教材	なし		
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	社会に生きる私たち		○	第 1 回(5/7)
2	4/18	木	個人の尊厳と自主・自律		○	
3	4/23	火	多様性と共通性		○	
4	4/25	木	伝統文化とのかかわり	○		
5	5/7	火	自立した主体をめざして		○	
6	5/9	木	公共的な空間をつくる私たち (添削指導)			第 2 回(5/28)
7	5/14	火	人間と社会の在り方についての見方・考え方		○	
8	5/16	木	人間の尊厳と平等、個人の尊重		○	
9	5/21	火	民主主義と法の支配		○	
10	5/23	木	自由・権利と責任・義務		○	
11	5/28	火	日本国憲法に生きる基本原理		○	第 3 回(6/25)
12	5/30	木	公共的な空間における基本原理 (添削指導)			
13	6/4	火	私たちと法	○		
14	6/11	火	法と基本的人権		○	
15	6/18	火	自由に生きる権利と法・規範		○	
16	6/25	火	平等に生きる権利と法・規範		○	第 4 回(9/10)
17	6/27	木	法や規範の意義と役割 (添削指導)			
18	7/2	火	期末試験			
19	8/27	火	裁判所と司法		○	
20	8/29	木	国民の司法参加		○	
21	9/3	火	私たちと選挙	○		第 5 回(10/1)
22	9/5	木	選挙の現状と課題		○	
23	9/10	火	世論の形成と政治参加		○	
24	9/12	木	司法参加の意義 (添削指導)			
25	9/19	木	国会と立法		○	

26	9/26	木	内閣と行政		○	
27	10/1	火	地方自治と住民福祉		○	
28	10/3	木	政治参加と公正な世論形成 (添削指導)			
29	10/8	火	中間試験			
30	10/15	火	国家と国際法		○	第6回(10/29)
31	10/17	木	国境と領土問題		○	
32	10/22	火	国際連合の役割と課題	○		
33	10/24	木	平和主義と安全保障		○	
34	10/29	火	日本の安全保障体制の変容		○	
35	11/5	木	国際社会と国家主権 (添削指導)			
36	11/12	火	核兵器の廃絶と国際平和		○	第7回(11/26)
37	11/19	火	今日の国際社会		○	
38	11/21	木	人種・民族問題と地域紛争		○	
39	11/26	火	国際社会における日本の役割		○	
40	11/28	木	日本の安全保障と防衛 (添削指導)			
41	12/3	火	期末試験			
42	1/9	木	日本経済のこれまでとこれから		○	第8回(1/28)
43	1/14	火	技術革新の進展		○	
44	1/16	木	現代の企業	○		
45	1/23	木	中小企業の現状と役割		○	
46	1/28	火	日本の農林水産業		○	
47	1/30	木	社会の変化と職業観 (添削指導)			
48	2/4	火	国際分業と貿易		○	第9回(2/18)
49	2/6	木	国際収支と国際経済体制		○	
51	2/13	木	外国為替相場の動き	○		
51	2/18	火	グローバル化する経済		○	
52	2/25	火	経済のグローバル化 (添削指導)			
53	3/4	火	学年末試験			

教科	科目		期間	担当者
数学	数学 I	単位数：3 単位 [標準単位：3 単位]	年間	黒沼 佐和子
指導目標				
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>1. 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>2. 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>3. 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>				
スクーリング	全 53 回	面接指導： 6 回 講義： 34 回	教科書	新高校の数学 I
レポート	全 9 回	添削指導： 9 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	1 学期： 1 回 2 学期： 2 回 3 学期： 1 回	副教材	新課程 新高校の数学 I 対応 教科書学習ノート 数学 I
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/11	木	ガイダンス	○		第 1 回(5/9)
2	4/16	火	正の数・負の数、分数の計算		○	
3	4/25	木	計算の順序		○	
4	4/30	火	単項式、多項式		○	
5	5/9	木	単項式の整理		○	
6	5/16	木	指数法則 (添削指導)			第 2 回(6/11)
7	5/23	木	展開		○	
8	5/28	火	展開の公式		○	
9	5/30	木	因数分解		○	
10	6/4	火	因数分解の公式		○	
11	6/11	火	たすきがけの因数分解	○		第 3 回(8/29)
12	6/18	火	展開、因数分解の応用 (添削指導)			
13	6/20	木	平方根の性質		○	
14	6/25	火	平方根の計算		○	
15	6/28	火	1 学期期末試験			
16	7/9	火	試験返却		○	第 4 回(9/24)
17	8/29	木	平方根の展開の計算		○	
18	9/5	木	分母の有理化 (添削指導)			
19	9/12	木	実数		○	
20	9/17	火	1 次方程式		○	
21	9/19	木	1 次不等式		○	第 5 回(10/24)
22	9/24	火	連立不等式		○	
23	10/1	火	不等式の応用 (添削指導)			
24	10/8	火	2 学期中間試験			
25	10/15	火	試験返却		○	
26	10/17	木	三平方の定理	○		

27	10/22	火	三角比の定義		○	
28	10/24	木	三角比の利用①		○	
29	10/29	火	三角比の利用② (添削指導)			
30	10/31	木	三角比の利用③ (校舎の高さを計算する)	○		第6回(11/14)
31	11/5	火	三角比の相互関係①		○	
32	11/7	木	三角比の相互関係②		○	
33	11/12	火	三角比の相互関係③		○	
34	11/14	木	正弦定理①		○	
35	11/19	火	正弦定理② (添削指導)			
36	11/21	木	余弦定理①		○	第7回(1/9)
37	11/26	火	余弦定理②		○	
38	11/28	木	三角形の面積		○	
39	12/3	火	2学期期末試験			
40	12/12	木	試験返却		○	
41	1/9	木	三角比の応用 (添削指導)			
42	1/16	木	集合の定義	○		第8回(1/30)
43	1/21	火	和集合と共通部分		○	
44	1/23	木	補集合		○	
45	1/28	火	集合とベン図		○	
46	1/30	木	ド・モルガンの法則		○	
47	2/4	火	集合を用いた文章題への応用 (添削指導)			
48	2/6	木	命題の定義	○		第9回(2/18)
49	2/13	木	命題と集合		○	
51	2/18	火	命題の真偽		○	
51	2/20	木	必要条件・十分条件 (添削指導)			
52	2/28	火	学年末試験			
53	3/11	火	試験返却		○	

教科	科目		期間	担当者
理科	科学と人間生活	単位数：3 単位 [標準単位：2 単位]	年間	吉田 展洋
指導目標				
自然の事物や現象を科学的に探究するために、次の項目にしたがって必要な見方や考え方の向上を目指す。				
1. 基本的な概念や原理・原則を理解し、日常生活と科学のつながりについて関心や探究心を高め、科学的な視点で物事を捉える力を養う。				
2. さまざまな物質について、構造や反応性を学ぶとともに、それらが身の回りでどのように利用されているか判断できる力を養う。				
3. 自然を大切にす気持ちや科学技術に対する興味と関心を持つことで、未来の社会に活かせる思考力を養う。				
スクーリング	全 53 回	面接指導：24 回 講義：16 回	教科書	高等学校 科学と人間生活
レポート	全 9 回	添削指導：9 回 その他：0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	1 学期：1 回 2 学期：2 回 3 学期：1 回	副教材	なし
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	火	ガイダンス 科学技術の発展	○		第 1 回(5/7)
2	4/18	木	第Ⅱ章 生命の科学 第 1 節 ヒトの生命現象 1 タンパク質のはたらきと構造	○		
3	4/23	火	2 遺伝子と DNA	○		
4	4/25	木	3 タンパク質の合成①		○	
5	5/7	火	3 タンパク質の合成②	○		
6	5/9	木	4 血糖濃度の調節① [添削指導]			
7	5/14	火	4 血糖濃度と調節②	○		第 2 回(5/30)
8	5/16	木	5 血糖濃度と糖尿病		○	
9	5/21	火	6 病原体の排除 (1)		○	
10	5/23	木	7 病原体の排除 (2)	○		
11	5/28	火	8 ヒトの視覚 (1)		○	
12	5/30	木	9 ヒトの視覚 (2)	○		
13	6/4	火	第Ⅰ章 物質の科学 第 1 節 材料とその利用 1 プラスチックの特徴 [添削指導]			第 3 回(6/25)
14	6/11	火	2 プラスチックの分類と用途 (1)		○	
15	6/13	木	3 プラスチックの分類と用途 (2)	○		
16	6/18	火	4 さまざまなプラスチック		○	
17	6/20	木	5 金属と人間生活	○		
18	6/25	火	6 金属とその精錬(1) 7 金属とその精錬(2)		○	
19	6/27	木	単元の振り返りと基本事項の確認 [添削指導]			第 4 回(9/12)
20	6/28	金	1 学期 期末試験			
21	8/27	火	8 金属のさびと合金		○	
22	8/29	木	9 資源の再利用 (1)		○	
23	9/3	火	10 資源の再利用 (2)	○		
24	9/5	木	第Ⅲ章 熱や光の科学 第 1 節 熱の性質とその利用 1 温度と熱運動	○		

25	9/10	火	2 熱容量と比熱 (1)		○	第5回(10/1)
26	9/12	木	3 熱容量と比熱 (2)	○		
27	9/17	火	4 熱の伝わり方 [添削指導]			
28	9/19	木	5 仕事や電流と熱の発生		○	
29	9/26	木	6 エネルギーの移り変わり		○	
30	10/1	火	7 エネルギー資源の有効利用	○		第6回(10/29)
31	10/3	木	単元の振り返りと基本事項の確認 [添削指導]			
32	10/8	火	2学期 中間試験			
33	10/15	火	第IV章 地球や宇宙の科学 第1節 自然の景観と自然災害 1 日本列島のなりたち	○		
34	10/17	木	2 火山活動と地表の変化		○	
35	10/22	火	3 火山災害と防災	○		第7回(11/26)
36	10/24	木	4 地震活動と地表の変化	○		
37	10/29	火	5 地震災害と防災	○		
38	11/5	火	6 水のはたらきと地表の変化 (1) [添削指導]			
39	11/7	木	7 水のはたらきと地表の変化 (2)		○	
40	11/12	火	8 気象災害と防災①	○		第8回(1/30)
41	11/14	木	8 気象災害と防災②	○		
42	11/19	火	第IV章 地球や宇宙の科学 第2節 太陽と地球 1 太陽と太陽系	○		
43	11/21	木	2 太陽系を構成する天体	○		
44	11/26	火	3 太陽と人間生活 (1)		○	
45	11/28	木	単元の振り返りと基本事項の確認 [添削指導]			第9回(2/6)
46	12/3	火	2学期 期末試験			
47	1/9	木	4 太陽と人間生活 (2)	○		
48	1/16	木	5 天体の動き	○		
49	1/23	木	6 太陽と月の動き (1) [添削指導]			
51	1/30	木	7 太陽と月の動き (2)	○		第9回(2/6)
51	2/6	木	8 太陽の動きと太陽暦		○	
52	2/20	木	単元の振り返りと基本事項の確認 [添削指導]			
53	2/28	金	3学期 学年末試験			

教科		科目		期間	担当者	
保健体育		体育 (1年)		年間	矢田 佑志	
		単位数：2 単位 [標準単位：7 単位]				
指導目標						
<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>1. 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>2. 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>3. 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>						
スクーリング	全 35 回	面接指導：20 回 講義：9 回	教科書	現代高等保健体育 (大修館)		
レポート	全 3 回	添削指導：3 回 その他：0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	1 学期：1 回 2 学期：1 回 3 学期：1 回	副教材	アクティブスポーツ 2024 (大修館)		
定期試験評価割合	50%		評定	100 点法 5 段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/11	木	ガイダンス・体育理論		○	第 1 回(6/20)
2	4/18	木	体づくり運動	○		
3	4/25	木	体づくり運動	○		
4	5/9	木	体づくり運動	○		
5	5/16	木	球技 (バレーボール)		○	
6	5/23	木	球技 (バレーボール)	○		
7	5/30	木	球技 (バレーボール)	○		
8	6/13	木	球技 (バレーボール)	○		
9	6/20	木	球技 (バレーボール)	○		
10	6/27	木	球技 (バレーボール) [添削指導]			
11	7/4	木	期末試験			第 2 回(11/21)
12	7/9	火	試験返却		○	
13	8/29	木	体育理論		○	
14	9/5	木	陸上競技 (ハードル)	○		
15	9/12	木	陸上競技 (ハードル)	○		
16	9/17	木	陸上競技 (ハードル)	○		
17	9/26	木	陸上競技 (ハードル)	○		
18	10/3	木	陸上競技 (ハードル)	○		
19	10/17	木	球技 (サッカー)		○	
20	10/24	木	球技 (サッカー)	○		
21	11/7	木	球技 (サッカー)	○		
22	11/14	木	球技 (サッカー)	○		



23	11/21	木	球技 (サッカー)	○		
24	11/28	木	球技 (サッカー) [添削指導]			
25	12/5	木	期末試験			
26	12/12	木	試験返却		○	
27	1/9	木	体育理論		○	第3回(2/13)
28	1/16	木	球技 (バスケットボール)	○		
29	1/23	木	球技 (バスケットボール)		○	
30	1/30	木	球技 (バスケットボール)	○		
31	2/6	木	球技 (バスケットボール)	○		
32	2/13	木	球技 (バスケットボール)	○		
33	2/20	木	球技 (バスケットボール) [添削指導]			
34	3/6	木	期末試験			
35	3/11	火	試験返却		○	